

基礎天端レベリング材

プレミックスモルタル

特長

レベルに合わせて流すだけで基礎天端はフラットに仕上がります。ノンブリージングタイプなので浮き水や棚落ちが極めて少なく、流したままの状態ですべて硬化します。又、平滑性が良好で、薄く流してもフラットな仕上がりに変わりはありません。

用途

基礎天端レベリング（基礎天端レベラー）

荷姿・仕様



【荷姿】 クラフト紙3P防湿袋
25kg



【1袋の施工m数】（単位m）

		基礎巾	100mm	120mm	150mm	180mm
厚さ	10mm	16.0	13.3	10.7	8.9	
	7mm	22.9	19.0	15.2	12.7	

試験結果

試験項目		試験結果			試験方法
容積 (W/A)		16.0 l (26%)			1袋に6.5lの水を加えた JASS15M-103
フロー値		230mm			
	材令	3日	7日	28日	JIS R 5021 建研式
圧縮強さ	N/mm ²	10.8	16.9	24.9	
接着強さ		0.5	0.6	0.9	

※カタログデータは、保証値ではありませんので予め御了承下さい。

施工手順

前 行 程

レベル出し 鋼製型枠には磁石、木製型枠には釘を用いて仕上げレベルを出します。

コンクリート打設 レベルより5～7mm下げでコンクリートを打設します。

天端均し コンクリート天端をタンピングして粗骨材を十分沈め、表層にモルタルを浮かせ、フラットに均します。→続いて **アンカーセット** します。

木鏝ずり コンクリートの浮き水が適度に引いたら凹みに残った溜まり水をふき取り天端表面のレイトンスを押さえ込む様に木鏝をかけます。
※レイトンスは、コンクリートと基礎天端レベリング材の接着を阻害し、浮きやクラックの原因となります。この工程は確実に行って下さい。

鏝押さえ 再度金鏝かプラ鏝で押さえます。接着力と仕上がり精度が向上します。

施 工

練り混ぜ 練り混ぜは飲料水を用い、正確に計量して練り混ぜます。

水の計量 規定量の水を計ります。(標準水量=6.5 l/袋季節で加減して下さい)

容器に入れる 練り混ぜ容器に計量した水を入れます。

ミキシング

規定量の**基礎天端レベリング材**を半分程度容器に入れ、直ちにハンドミキサーで10～20秒間練り混ぜ、続いて残りを全て入れて1～2分間練り混ぜます。この時、攪拌むらが出ない様ミキサーを上下し隅などにも注意して攪拌します。

流 し

レベルに合わせて一方向から流します。

厚

さ

厚さは5～10mmの範囲で流します。コンクリート天端のレベルが良ければ5mmでもフラットに流れます。

施工のポイント

レイトンスを押さえ込む



練り混ぜは
ハンドミキサー
で

レベルに流す
(表写真参照)

施工完了



基礎と一体化して
平滑な仕上がり



養 生

施工が済んだら風よけ(風に当たって波を打つ事があります)とドライアウトや凍結防止を兼ねて保護シートをかけます。型枠を外した後、角にバリが出る事がありますが、このような時は砥革スキや砥石を用いてバリを取りをします。

取り扱い時の 注意事項

本製品はセメントを基材とした「業務用」既調合モルタルです。強アルカリ性を有し粉塵がたち易い製品です。取扱いに際しては保護具(保護メガネ・防塵マスク・ゴム手袋)を着用してください。皮膚に付着した時や目に入った時吸引した時誤って飲み込んだ時は直ちに洗浄等の応急措置を施して速やかに専門医の診断を受けて下さい。

製造元

 **青野産業株式会社**
Aono Sangyo Corporation

本社所在地 大阪府堺市堺区中安井町3丁4番10号 TEL072-233-7521 FAX072-233-7527
美原営業所 大阪府堺市美原区多治井40-3 住吉営業所 大阪府大阪市東住吉区矢田2-3-3
TEL072-362-3412 FAX072-362-3480 TEL06-6699-4505 FAX06-6699-8547
和泉営業所 大阪府和泉市伏屋町1-10-22 寝屋川営業所 大阪府寝屋川市点野1-1-6
TEL0725-55-6675 FAX0725-55-0075 TEL072-829-1517 FAX072-838-4781

201202改定

●販売取扱店